

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストデイセンター鹿ノ台（えるく）		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 23日		2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境が良い。	施設が住宅地の中にあり、周辺には公園もたくさんある。ほどよい坂道もあるので、散歩に行くことで自然に歩く力や体幹が強くなる。	その日の天候や年齢に応じて、歩くルートや公園を決め、バリエーションをつけている。
2	高齢者デイサービスが併設されている。	高齢者の方や職員に挨拶をしたり、歌を歌いに行ったり、時には一緒に行事に参加して交流することで、お互いに良い刺激になっている。	コロナ以降は交流が持ちにくくなっているので、できる範囲で今後交流を持ちたい。
3	通信アプリを活用し連絡している。	月の活動の予定や献立をお知らせしたり、日々の活動の様子を写真を添えることでわかりやすく伝えている。	活動の内容を簡潔にわかりやすく伝えられるように、子どもたちの様子も観察している。降園後なるべく早く公開できるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信	法人のホームページやInstagramは開設されているが、日々の業務に追われ更新できない。	月1回程度、日にちを決めて活動内容や取り組んでいることなどを発信できたらと思う。
2	災害時の発生に備えた避難訓練	簡単な訓練で、並行児童は園でも行っているため避難訓練はプログラムに入っていない。	プログラムの中で災害について考える機会を作り、並行児童も避難経路を確認できるようにする。
3	情報共有	職員同士での児童情報の共有ができていない時がある。児童発達支援の外部研修など積極的に参加したいが、どのような研修があるのか情報が入りにくい。	職員同士で、どうすれば抜けなく共有できるかを考え、都度実践し模索している。外部研修の情報を積極的に取得し、職員の資質向上や新しい取り組みに役立てていきたい。